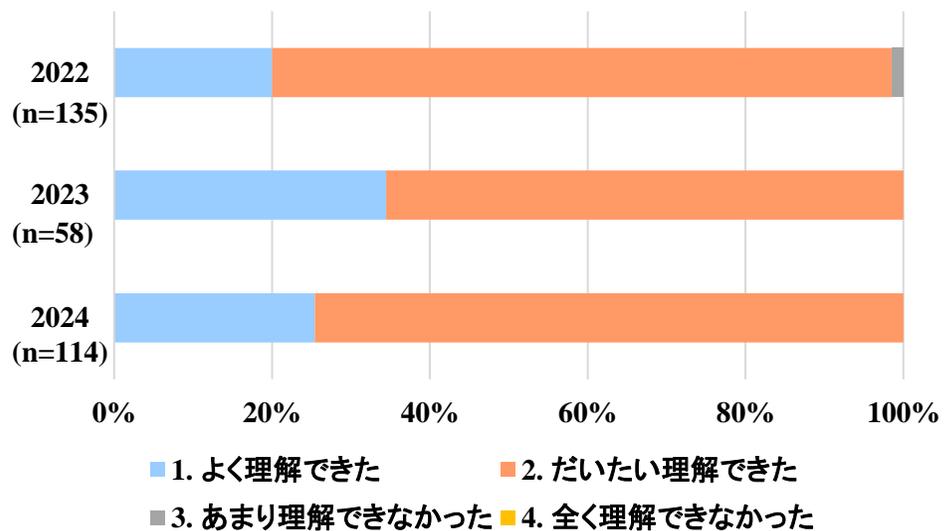
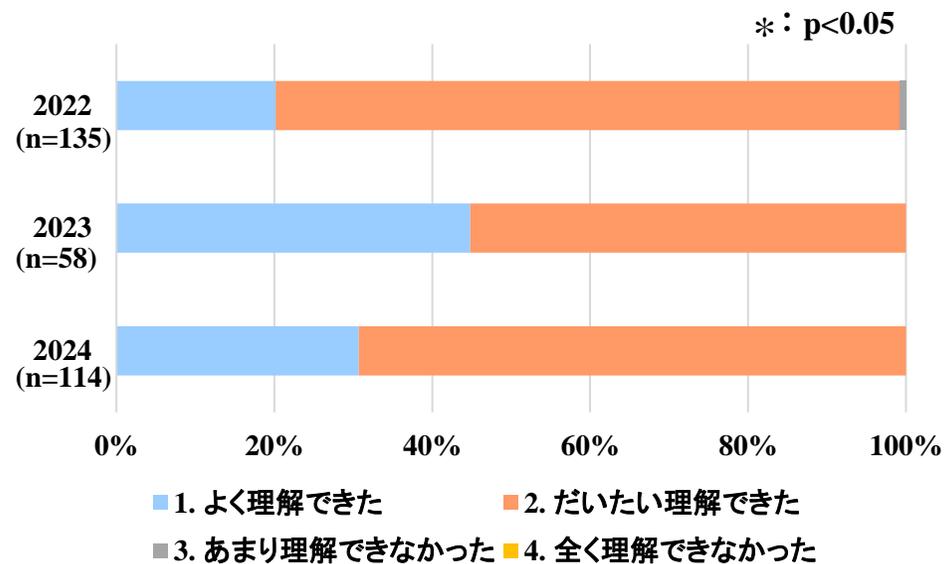


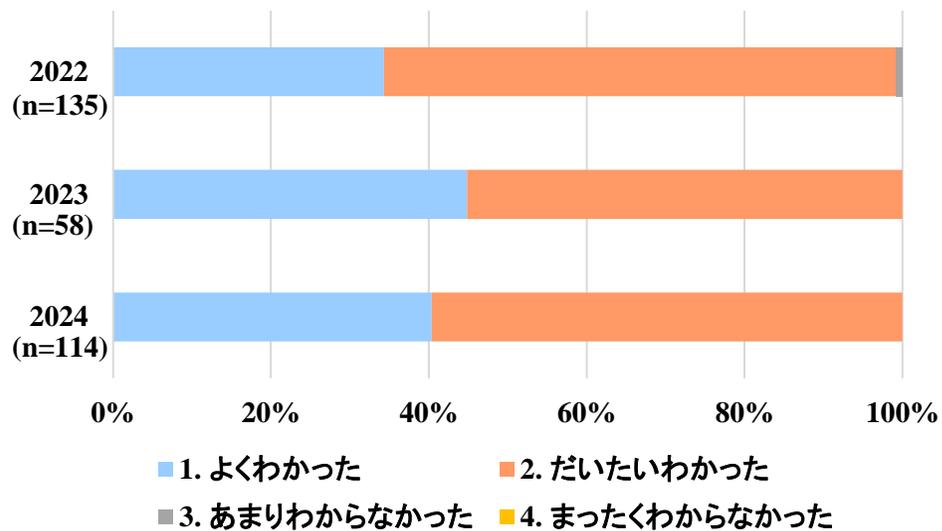
Q1 現代社会で数理・データサイエンス・AIがどのように活用されているか理解できましたか？



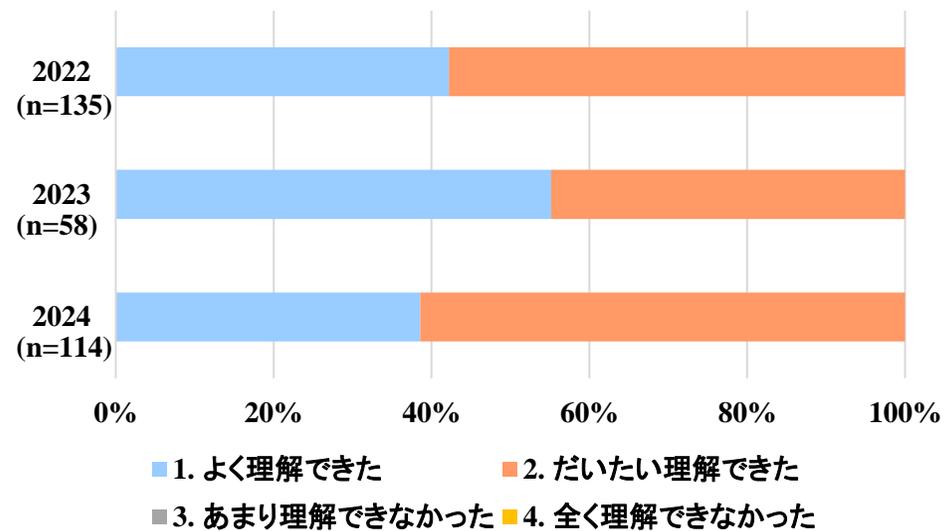
Q2 現代社会で数理・データサイエンス・AIが私達の生活にどのようにかかわってくるか理解できましたか？



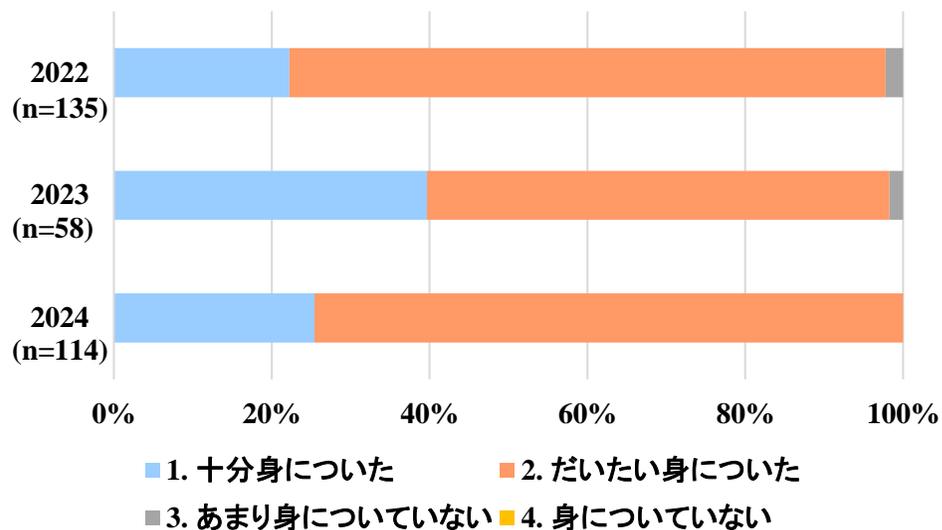
Q3 情報収集の方法を知ることができましたか？



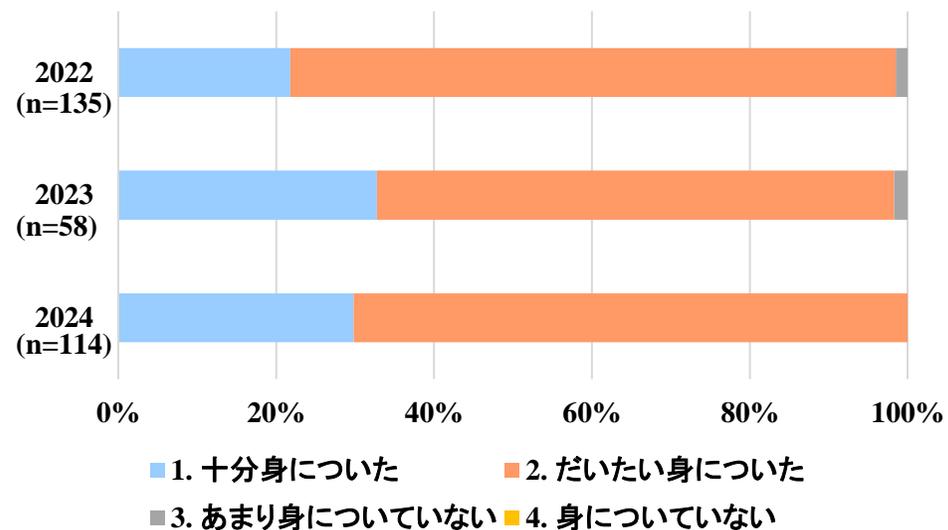
Q4 情報収集の真偽を吟味することの必要性和その方法を理解できましたか？



Q5 情報の数値化、数値化した情報の処理・活用方法などの情報を活用する基礎的能力が身につきましたか？



Q6 数理・データサイエンス・AI能力を活用し、現実的な課題を具体的に解決するための基礎的能力が身につきましたか？



アンケート結果の比較

- ・令和6年度のアンケート回収率は昨年度よりも増えた。
- ・全てのアンケート項目について学生の理解度は高かった。
- ・2022年度、2023年度はQ1, Q2:あまり理解できなかった、Q3:あまりわからなかった、Q4、Q5:あまり身についていないと回答する者がいたが、2024年度は全員から高い理解度が得られた。このことから授業展開が改善されていると評価できる。

令和7年度の取り組み

- ・令和7年度はさらに学習内容の質の向上を求め、資料の活用方法、授業の録画視聴など、授業展開および学習環境を改善していく。

令和4年度から令和6年度アンケート結果比較概要

実施主体 教学マネジメント会議 数理・データサイエンス・Ai教育推進分科会
アンケート実施対象 情報リテラシーおよび統計学を履修した学生